

*** 乗鞍コロナ観測所にあった太陽のエシェルスペクトル展示**

アーカイブ室新聞第373号(2010年9月14日)に「乗鞍コロナ観測所から25cmコロナグラフを搬出、第374号(2010年9月14日)に「乗鞍コロナ観測所の25cmコロナグラフを三鷹に搬入・保管」という記事を書いた。乗鞍コロナ観測所は2010年に観測を止め、閉所された。そこで天文情報センターアーカイブ室は乗鞍コロナ観測所の機器類を三鷹に持ち帰ったのである。その中に今回の太陽のエシェル分光器によるスペクトルの展示(写真1)があった。



写真1

2010年9月に三鷹に持ち帰り、天文機器資料館の階下にぞんざいに保管されたままになっていた。今回、特別公開の際、分光器資料館にこのスペクトルを展示しようと手入れをした。この展示はライトボックスを転用したものであった(写真2)。



写真2

このライトボックスは、筆者の若い頃には、下から照明して、図などをトレースするためによく使われたものである。

まず SW を ON にしたが、照明の明かりがつかない。照明の仕掛けを見るために裏蓋を開けてみると写真 3 のようになっていた。



写真 3

照明機構は至って簡単なもので、平面を局面に曲げ、その中心の 8W 蛍光灯で照明しているが、この蛍光灯の交換が必要であった。

波長の同定はしていないが青の部分のスペクトルが写真 3 である。

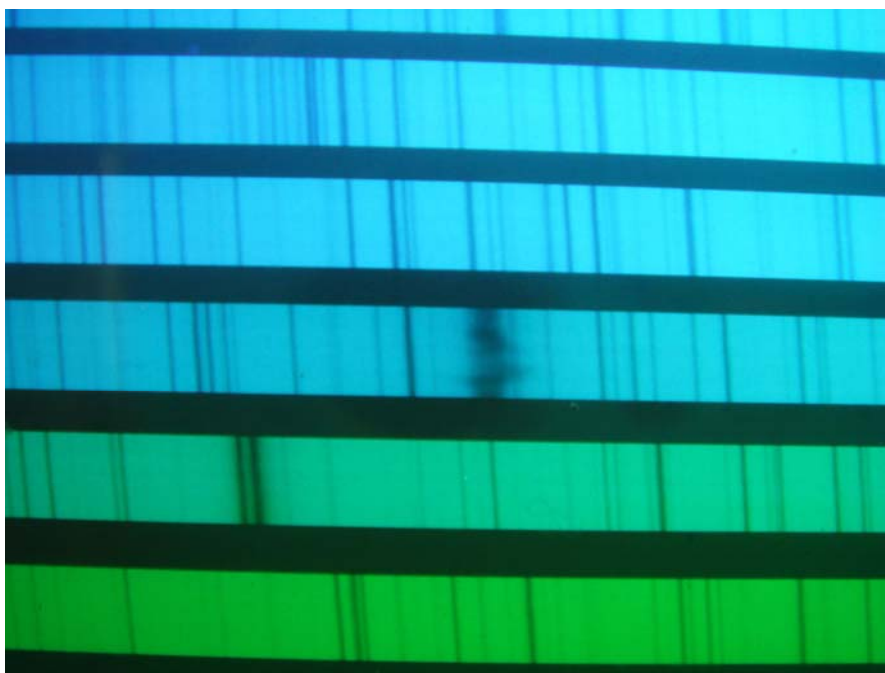


写真 3

橙色の部分が写真4である。



写真4

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp